

# openam-dev 活動報告

# コンソーシアム版 OpenAM開発状況

# ◆ コンソーシアム版OpenAM開発状況 (1)

## ① 運用面の整備

### 背景

コンソーシアム版OpenAMは2018年から開発を開始した。オージャス総研とOSSTechで共同で開発するための手順やGitHub上で開発するためのルール等を整備する必要があった。

### 実施内容

- Slackやメーリングリストの準備
- 開発・レビュー手順の決定
- GitHubの使用言語の決定(海外にもアピールできるように主要な個所は英語とし、作業ブランチなどの生産性にかかわる個所は日本語もOKとした)
- GitHubのIssueやPull Requestのテンプレートの準備
- GitHubのラベルの作成

## ◆ コンソーシアム版OpenAM開発状況 (2)

### ② ForgeRockに依存しないビルド方法の確立

背景	OpenAMをビルドするには依存ライブラリをForgeRockが管理するサーバー(Maven リポジトリ)からダウンロードする必要があった。ソースコードと同様に依存ライブラリもクローズされたため、過去に取得済みのキャッシュを利用しなければならない状況に陥っていた。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ OpenAMが依存しているForgeRock製ライブラリ (OpenDJ/ForgeRock Commons など)をフォーク</li><li>❑ Mavenリポジトリなしでビルドできるように調整</li><li>➢ 現在はすべてのリポジトリをビルドすればOpenAMをビルド可能な状況に</li></ul>
今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ OpenAMをビルド可能なDockerコンテナやDockerfileの公開</li><li>❑ 公開Mavenリポジトリにコンソーシアムの成果物を登録する</li></ul>

## ◆ コンソーシアム版OpenAM開発状況 (3)

### ③ OpenAM14開発

状況	14.0.0を年内リリースを目標として開発中 <a href="https://github.com/openam-jp/openam/milestone/1">https://github.com/openam-jp/openam/milestone/1</a>
新機能	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ WebAuthn認証モジュール</li><li>❑ SAML2/OAuth2認可(ポリシーによる保護)</li><li>❑ パスワード強制変更モジュール(認証時に有効期限を確認し、パスワード変更を外部IDMにリクエストする)</li><li>❑ OpenJDK11対応</li></ul>
その他の修正	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ ForgeRock Security Advisory対応</li><li>❑ オージス総研 &amp; OSSTechの独自パッチのマージ</li><li>❑ 品質強化(単体テストのカバレッジ強化)</li></ul>

# ◆ OpenAM14マイルストーン

月	管理系タスク	開発系タスク	JDK11対応
4		Issue登録	OpenJDK11対応調査 テストフレームワーク 更改 品質状況見える化
5			
6		クリティカルバグ対応	
7		(Security Advisory対応、 OPENDJ-2969)	
8			
9		マイナーバグ対応	
10	リリース準備	ドキュメント整備	
11		検証作業	
12	リリース実施 プレス発表		

OpenAM  
コンソーシアム

<https://www.openam.jp/>